国民的運動を目指す「日本風景街道」

『美しい国づくり』の国民的運動を目指して、平成19年からスタート!

日本風景街道とは、住民・ＮＰＯ・企業などが主体となって行政と連携しながら、道を舞台に風景や自然・歴史・文化など、地域ならではの資源を活かした「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」や「観光の振興」を行っていく取り組みです。
それぞれの活動を活発にすることで、にぎわいや元気のある地域を目指します。

風景街道の概念

美しい景観づくり
自然景観の維持や
歴史的町並みの保全など

連携している組織

地域住民・大学
NPO・企 業
自治体

＋

道路の管理者

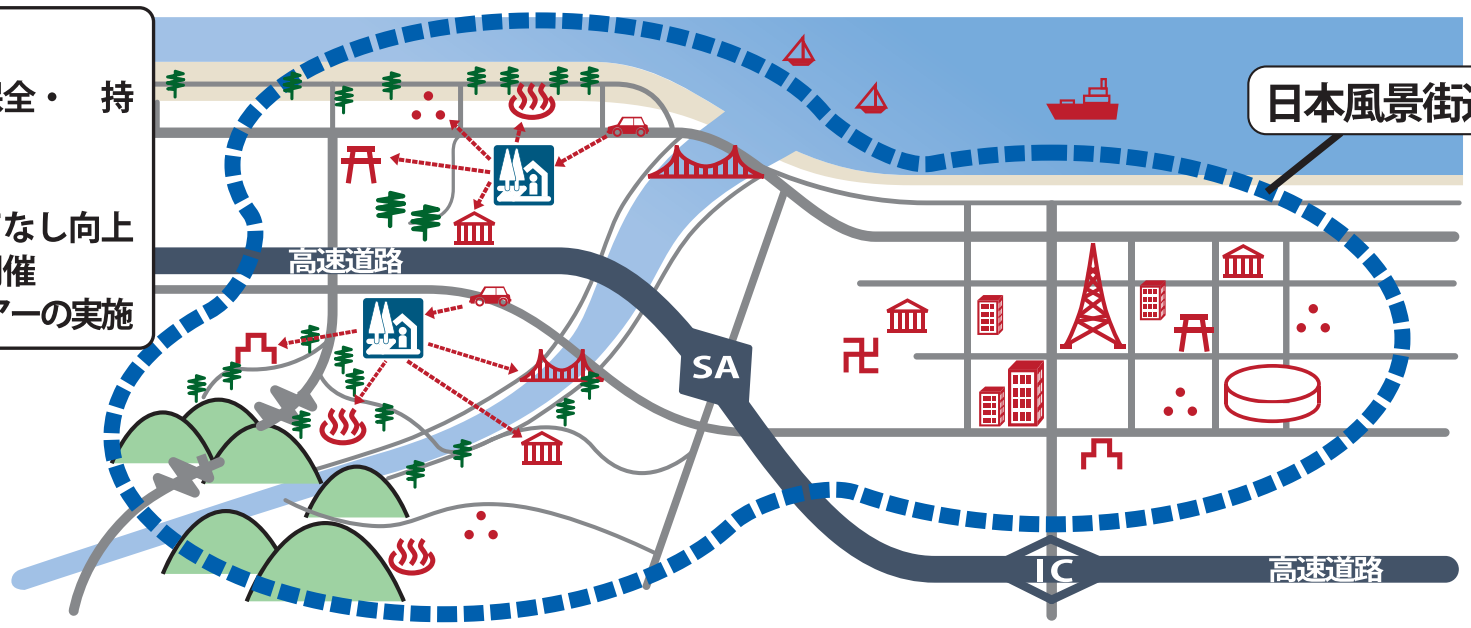
観光の振興
地域資源の磨き上げ
「お・も・て・な・し」

活力ある地域づくり
歴史・文化などの伝承や
世代間交流の促進など

風景街道のイメージ

主な取組み
- 松並木や草原景観の保全・　持
- 植栽・清掃活動
- 歴史的町並みの保存
- 観光ガイドによるもてなし向上
- お祭りやイベントの開催
- 街道ウォークやバスツアーの実施

「道の駅」
- 観光情報ゲット！
- 回遊スタート！



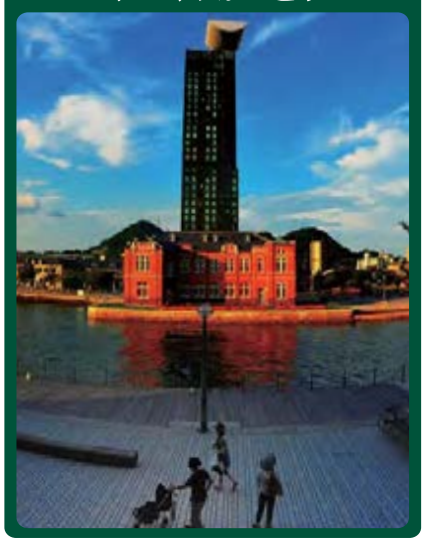
日本風景街道は、全国で141ルート、九州で14ルートが登録

日本風景街道　九州 14 ルート

九州では、それぞれの地域ルートの歴史や自然・生活文化など、これまでの魅力を大切に育みながら、地域同士が手を繋ぎあい、個性にあふれたユニークな風景街道が生まれています。地域資源が磨きあげられ、魅力アップした街道を訪れるたび、新しい発見と素敵な出会いが始まることでしょう。

9-5 ちょっとよりみち　唐津街道 むなかた

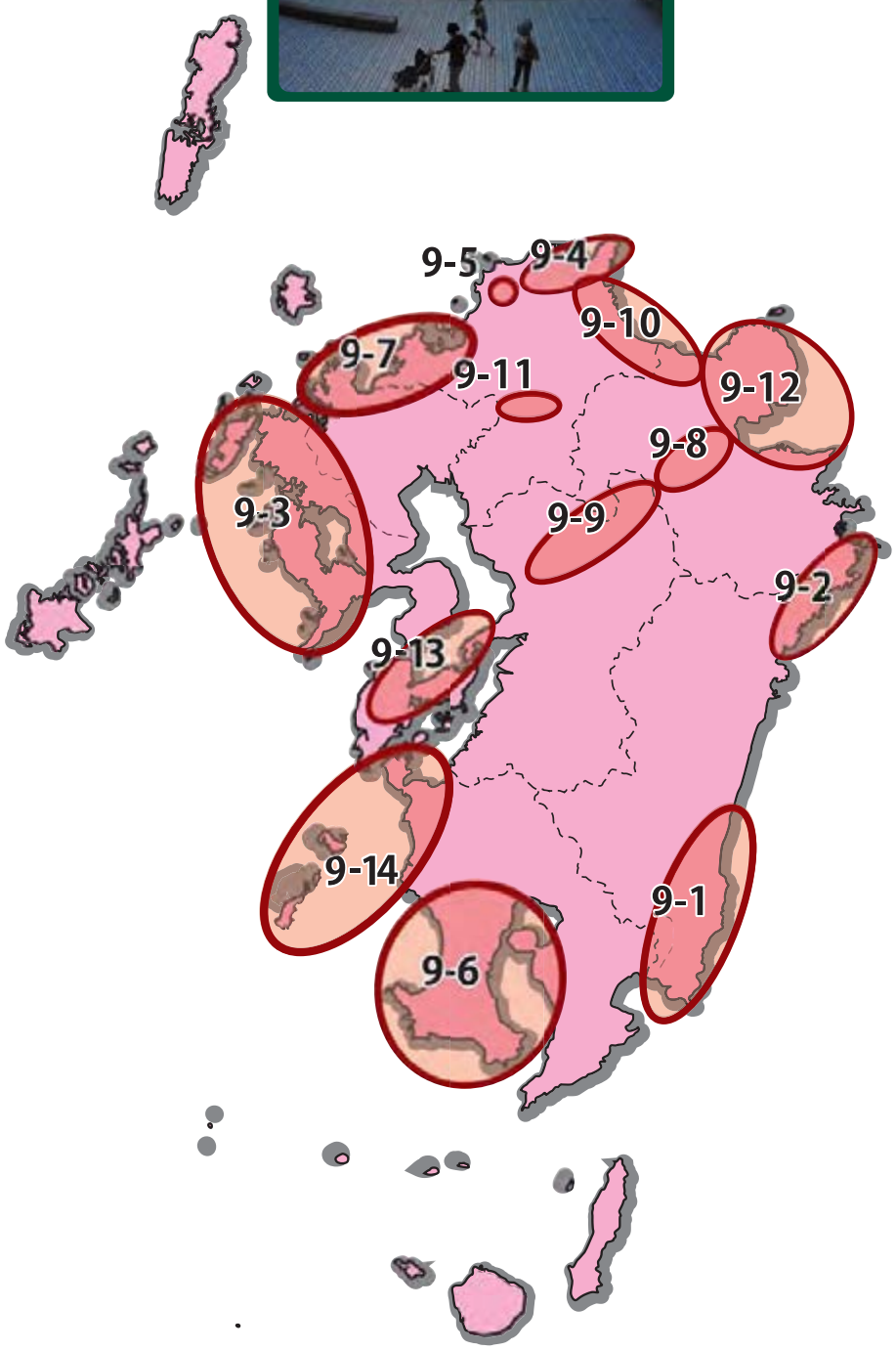
9-4 北九州おもてなしの "ゆっくりかいどう"



9-10 豊の国歴史ロマン街道

9-7 玄界灘風景街道

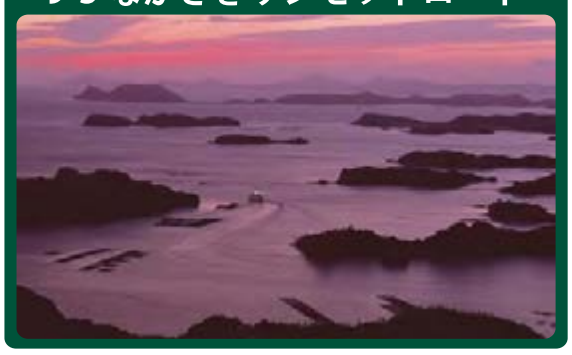
9-12 別府湾岸・国東半島海べの道



9-11 みどりの里・耳納風景街道

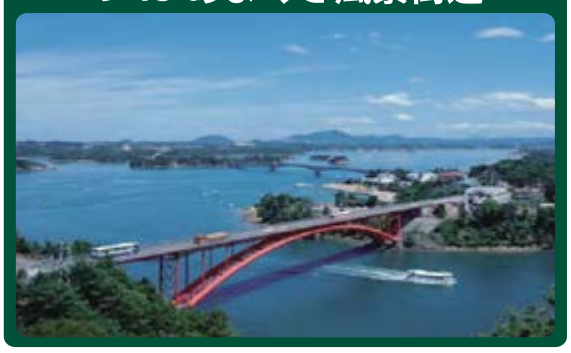
9-8 九州横断の道　やまなみハイウェイ

9-3 ながさきサンセットロード



9-9 九州横断の道　阿蘇くまもと路

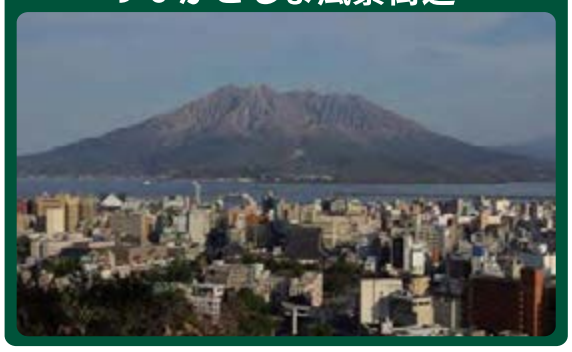
9-13 あまくさ風景街道



9-2 日豊海岸シーニック・バイウェイ

9-14 薩摩よりみち風景街道

9-6 かごしま風景街道



9-1 日南海岸きらめきライン

九州ルートの取り組みと効果

九州ルートでは、日本風景街道運動の推進にともない、多くの団体の参画によって美しい地域の広がりとコミュニティの活性化が進み、地域資源を活用した多様な風景が形成されています。さらに、暮らす人々と訪れる人々によって、いっそうの磨きがかけられるとともに、様々な工夫により継続的な運動へと展開しています。

多くの地域の参画、美しい地域の拡大と地域コミュニティ活性化

●平成１９年に９ルート・参加団体数 390 の登録でスタートしたこの運動も、10 年を経過し、14 ルート・参加団体数 500 に成長しています。
●沿線では地域おこしや、景観・歴史の研修会・街道ウオークやバスツアーなど、様々な団体の取組みが広がっています。
●こうした活動は、九州内のみならず、全国のルートとも交流が活発化しています。

地域資源の活用と多様な風景の形成

●九州特有の山岳・高原景観や海岸景観・歴史遺産・海幸、山幸の地産地消の「お・も・て・な・し」によって、地域資源の活用や多様な風景の形成など、地域の新たな魅力づくりが盛んになっています。
●福岡都市圏では、都市型風景街道の研究会とシンポジウムの成果として、関係行政機関に「都心部の回遊と景観向上の提言」を行い、都心づくりの新たな展開を迎えています。

暮らす人々と訪れる人々による、地域資源の磨き上げ

●日豊海岸では、海洋資源を活かした地域の工夫で「あまべ渡世大学」や道の駅での「かまえコンシェル」が常駐し、新たな交流の場が生まれています。
●くじゅう・阿蘇の広大な草原では、毎年、「野焼き」によって、美しい景観が維持されており、野焼き自体も観光資源となっています。
●各ルートでも、道案内標識の設置やマップの発行、地元ガイドの充実などによる快適な回遊性の向上、ビューポイントの確保など、迎える側の環境も整ってきています。

継続的な運動と情報発信

●九州全体でのルート代表者会議や、意見交換会・日本風景街道大学などの開催による情報交流・仲間づくり・後継者の育成や、毎年の「年間優秀活動賞」の表彰などにより、ルート活動に弾みをつけています。
●道の駅・道守九州（沿道環境の愛護団体）など、関連団体との情報交流・連携強化も促進されています。
●各ルートの活動情報は、各団体のＨＰやフェイスブックなどでも発信されています。

日本風景街道九州ルート　ＱＲコード

日南海岸きらめきライン

宮崎
miyazaki

住んでよし・訪れてよし 魅力ある日南海岸

宮崎市街から日南海岸沿いを県南へ続く青い空や海を背景に、亜熱帯植物がつくり出す美しい風景が広がる日南海岸国定公園を中心としたルート。毎年春に開催される「ぐるっと青島フラワーフェスタ」や、南郷の「ジャカランダまちづくり」等、花と緑のもてなしが魅力です。また、国の特別天然記念物の野生馬が生息する都井岬、青島神社・鵜戸神宮・潮獄神社に代表される神話ゆかりの地、江戸時代の町並みが残る飫肥城下町等、この地域固有の風景が楽しめます。この地の最大の魅力は地域の人とのふれあい。訪れたら地域の人に声をかけてみると旅の楽しみ方が一つ加わるかも…。

堀切峠（宮崎市）

ジャカランダの森（日南市）

都井の岬馬（串間市）

活動のご紹介

うつくしの道づくり

花の苗供給システム
花で地域を結ぶ一斉活動と道守活動

毎年３月、花で地域を結ぶ一斉活動として各地で多数の市民が参加して植栽活動を展開しています。また、日南海岸きらめきラインのパートナーシップが多数加入されている「道守みやざき会議」は、毎年、10 月を「宮崎県内道守一斉活動月間」と位置づけ、道守活動を展開しています。

苗作りの様子

花苗の生産から植栽とその後のプランターや花壇の管理に至るまで、数多くの市民が参加することによって花みどりの景観文化の醸成を図っていきます。

一般財団法人 みやざき公園協会 事業推進課
企画設計室長 伊藤 慎一朗さん

神話・歴史の道づくり

記紀編纂 1300 年～神話伝承ゆかりの地みやざき～

本ルートエリアには、神話ゆかりの地が多く点在。記紀編纂 1300 年を機に「みやざき神話」の発行や勉強会・ツアーなどを展開しています。

神話伝承ゆかりの地に多くの人に訪れてもらい、我々地域がもてなすことによって満足してもらい、また日南海岸きらめきラインに行ってみたいと思ってもらえるよう活動に励んでいます。

鵜戸山をかっとしやる協議会
会長 長友 治さん

パートナーの連携・協働の強化

日本風景街道大学　宮崎大学で開講

多様な担い手が共に学ぶ場として、全国で活躍する有識者・専門家等を講師陣に迎え、「日本風景街道大学」を宮崎大学にて実施。本大学のきっかけにより、広域的なネットワークを広げ、一層の交流・情報交換を図りながら、風景街道活動の全国的なレベルでの発展をめざしています。

日南海岸サイクルライン

P2M によるサイクルラインづくり

日南海岸きらめきラインの道は温暖な気候に美しい風景が広がり、年間を通じてサイクリングを楽しむには最適です。更に安全・快適な走りと地域による「もてなし」を実現してサイクリスト誘致による地域振興を目指して「日南海岸サイクルツーリズム協議会」が発足し、ハード整備、制度整備などに向けて動き出しました。
また、各地域の団体が自発的にサイクルスタンドを設置するなどの「もてなし」の機運を受け、日南海岸共通のロゴや休憩ポイントの設置などを順次行っています。
まさに、複数のプロジェクトをマネジメントしながら「日南海岸サイクルラインづくり」に向けて歩み出しました。

日豊海岸 シーニック・バイウェイ

大分 oita

宮崎 miyazaki

浦々のふれあいでみんな元気！蒲江・北浦大漁海道

大分県佐伯市と宮崎県延岡市を結ぶ国道 388 号を中心に、複数の県道等にまたがるルート。海道の中心となる日豊海岸は、風光明媚なリアス式海岸が続き、緑豊かな山々と優しく人を迎える浦々等、多彩な自然と人々が息づく地域と言えます。またマリンカルチャーセンター・元猿海岸・下阿蘇ビーチ等、海を楽しむスポットが点在。ことにブルーツーリズムと食による地域づくりが盛んで、島や沿岸部に滞在し、ゆっくりとした休暇を過ごしたい方々におすすめ。豊かな海の恵みを楽しめる観光キャンペーン「東九州伊勢えび海道」（9 月～ 11 月）で、ぜひとも伊勢えびをたらふく召し上がれ。

お茶畑（北浦町）

波当津海岸

下阿蘇ビーチ

活動のご紹介

のじぎく再生プロジェクト

たかひら展望公園の「のじぎく」は、佐伯市蒲江を代表する秋の風物詩。かつて壊滅状態でしたが、地域住民と行政が連携し、平成 22 年度より「のじぎく再生活動」がスタート。今では、毎年 11 月から 12 月上旬頃まで、多くののじぎくが楽しめるようになりました。

たかひら展望公園に咲き誇るのじぎく

「海の道」のリフォーム

快水浴場百選「海の部特選」に選ばれている下阿蘇ビーチは、全国で 10 か所選ばれた特選ビーチのひとつ。当研究会では“道守”活動の一環として、海開き前には清掃活動を実施しています。

波当津海岸砂模様

下阿蘇ビーチで清掃活動

地域の資産「おしなぎい（もったいない）」の発掘と有効利用

来訪者はもちろん、地元の人々からも知られていない歴史、文化資源・自然資源等、おしなぎい魅力の再確認を図っています。

【あまべ渡世大学】

本大学は、蒲江全体をキャンパスとした「体感・学び」の場。講師陣は地元の人々が務め、学生は県内外から訪れます。

海外（台湾）からの来訪者

真珠アクセサリー作り

北浦の小型定置網体験

県境を越えた地域連携と情報発信

本ルート沿線にある、他に負けない豊かな自然の魅力を十分に発揮していくためには、個別に活動している人どうしが連携を図り、「人、モノ、情報」が道路を通じて循環していく環境づくりを創出することが大切です。

【東九州伊勢えび海道事業】

昔から交流が深かった「蒲江」と「北浦」において「伊勢エビ」を主役にしたイベントを開催。おいしい伊勢エビにリピーターが増加しています。

経済の低迷で、地域資源を活かした観光での地域活性を目指して活動を始めました。
浦々の魅力を、ブルーツーリズムとして“話が得意な人”“行動で示す人”“頭を使う人”等それぞれが得意な分野で発信をしています。
これからは、平面的な観光に海（マリンレジャー）、空（スカイスポーツ）等立体的な観光を推し進めていきたいと考えています。

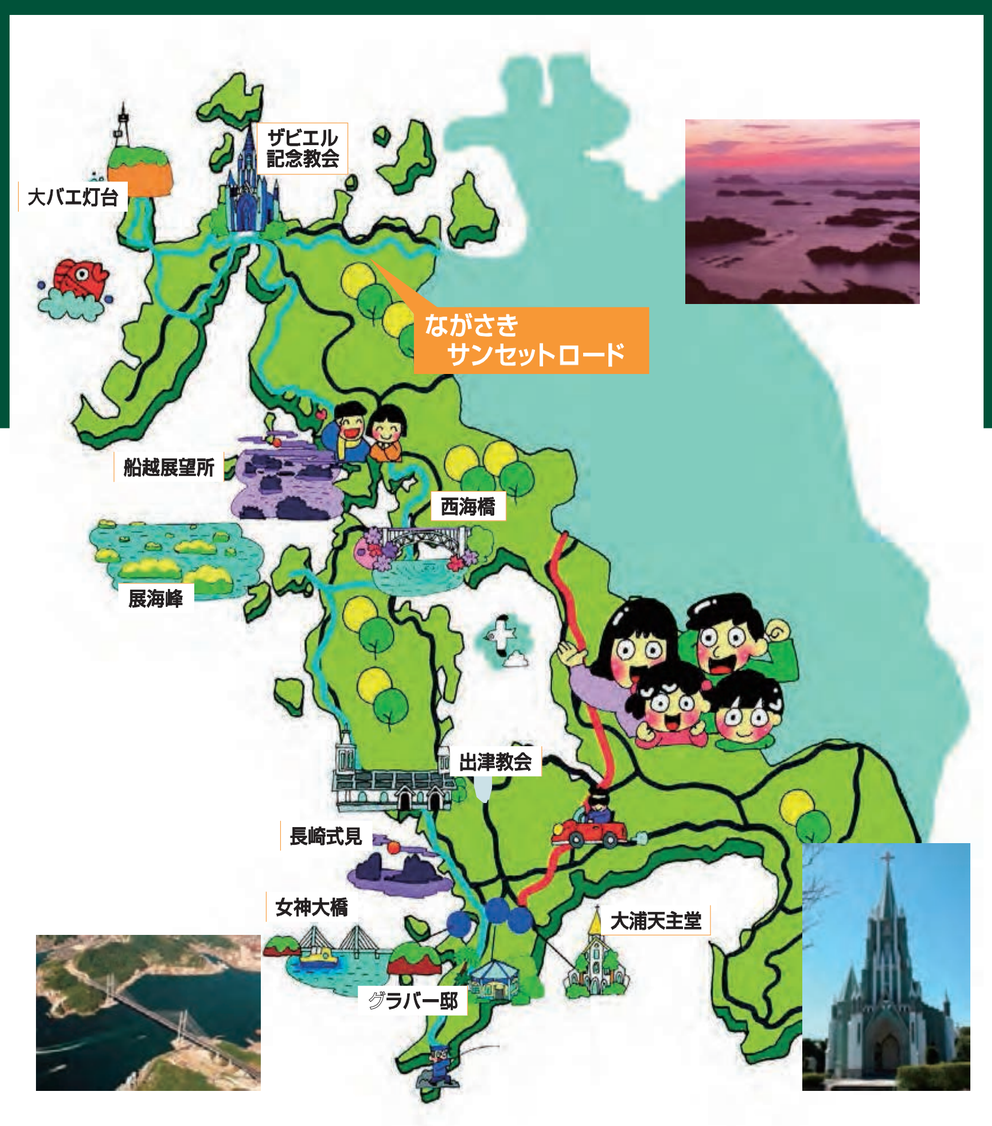
日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会 会長 橋本 正恵さん

日本風景街道

ながさきサンセットロード

長崎 nagasaki

～橋でつながる教会と歴史の道～



長崎県西海岸沿線の松浦市、平戸市、佐世保市、西海市等を通って長崎市に至るルート。本土最西端の海岸線、総延長 280 ㎞を北から南まで走るため、どこからでも西の海に沈む美しい夕日や西海橋・平戸大橋など、橋の造形美を存分に楽しむことが出来ます。また、数々の教会が点在しキリスト教の伝統を色濃く受け継ぐ「ながさき巡礼」ルートとも重なり、「夕日と橋と教会が織りなす美しい風景と海外の交流文化」が、目に、こころに広がります。また平戸ひらめ・松浦のふぐ・長崎のからすみはもちろん、佐世保バーガー・長崎ちゃんぽん等、さまざまなグルメも見逃せません。

九十九島

黒崎教会堂

女神大橋

活動の紹介

観光ボランティアガイドの育成

ルート沿道の観光ボランティアガイドの活動が充実しており、講習会などを各地で開催。

観光ボランティアガイドが活躍しています

「人づくり」には、ボランティアガイドの育成が不可欠でどこの観光地でも核になる人材を中心に研修会や養成講座を催しガイドの増加に日々努力しているようです。平戸では、早くにＮＰＯ法人化し平成 22 年２月からは独自に平戸検定を実施して合格者に対し先輩ガイドによる実地研修をすることにより、ガイドの増加を目指しています。

NPO 法人平戸観光ウェルカムガイド理事長　籠手田 恵夫さん

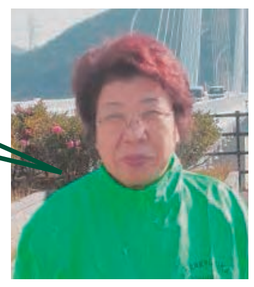
花植え・清掃活動の実施

ルート沿道では、道路愛護団体による花植えや清掃活動等が盛んです。
それぞれの団体が行政とうまく連携し、継続した活動を実施しています。

清掃活動の様子

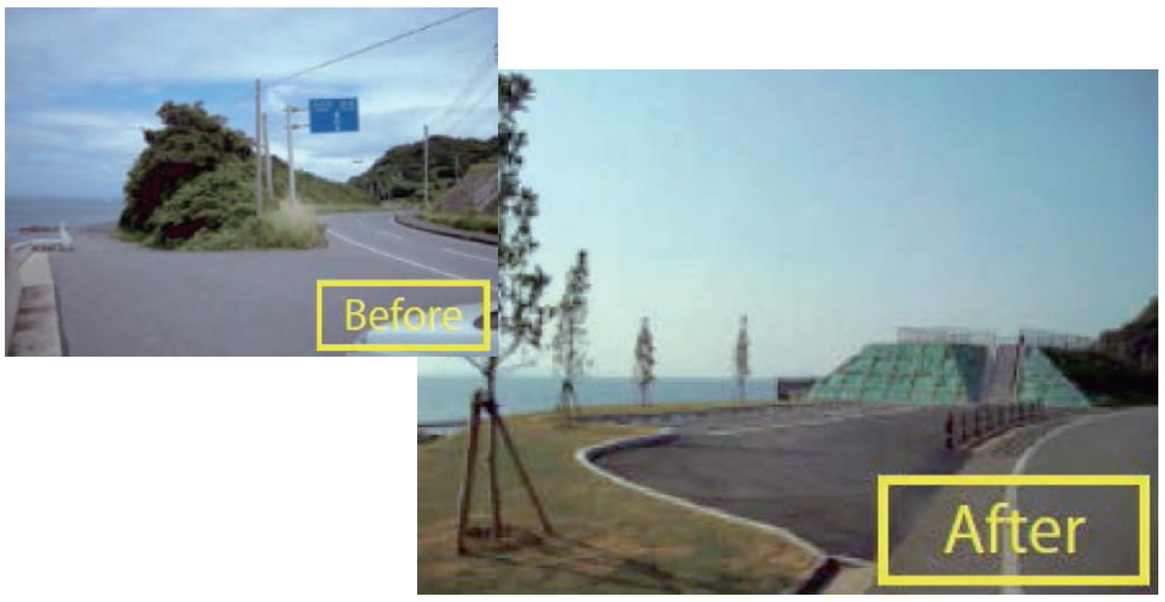
長崎県北西部、西海市大島町で清掃活動を続けており、「町に何か恩返しできれば」と考え大島町内のゴミ拾いをしたことからスタートしました。最初は１人でしたが、自然とメンバーが増え、一緒に清掃してくれる人数は今では 100 人以上。
大島町に来てくれた人たちがいい町だった、キレイな町だったなと気持ちよく帰ってもらいたいと思って清掃活動に励んでおります。

環境美化を考える会 代表 田口 昭子さん



眺望スポットへの簡易パーキングの整備

ルート沿いの眺望スポットの情報提供していただき、防草シートや簡易パーキングを６か所整備。



このような整備を図ることで、少しでもサンセットロードの景観形成に貢献し、「サンセットロード」という名称・ルートが世間に定着し、サンセットロードを利用した活動が活発になり、地域が活性化することを期待しております。

長崎県 土木部 道路維持課

『ながさきサンセットロードの日』一斉掃除イベントを開催

ルートの登録日であります、11 月 26 日を『ながさきサンセットロードの日』と制定しまして、南は長崎地区、北は松浦・平戸地区と、全体延長が約 340km、各地域（20 地区）が一同に合わせ一斉に清掃を行うイベントを開催しました、パートナーシップを中心に一般参加も募り、同日同時刻に同じ目的を持った仲間が集まり、参加者数は 1,500 名以上となりました。

今後、ルートが一丸となった一斉清掃の回を重ねていき、より多くの参加者数が増やしていきながら、「ながさきサンセットロード」の一大イベントとして位置づけられればと思っています。

NPO 法人道守長崎　村里　静則さん

北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”

福岡 fukuoka

歴史、文化や美しい景色を“ゆっくり”味わう

江戸時代の街道の面影が残る木屋瀬・黒崎・小倉を通る長崎街道や門司往還、大正ロマン漂う門司港レトロまでの沿線を対象とするルート。古くから本州やアジアの玄関口として多くの人が行き交い、にぎわい、栄えた歴史が今も脈打っています。徒歩で散策でき、歴史、文化や美しい風景を“ゆっくり”と味わえるのが魅力です。
見どころは、３つの宿場町・城下町や、その間にある史跡・旧跡、煉瓦建物や官営八幡製鐵所発祥の地にまつわる近代化産業遺産、関門海峡や皿倉山のからの景色・夜景等々。これらの地域資源を活用したイベントや伝統ある祭りなども盛んです。

門司港レトロ（門司区港町）

南河内橋（河内貯水池）

曲里の松並木

活動のご紹介

北九州風景街道まつり

まちのにぎわいづくり・日本風景街道のPRを目的に、プレイベントとして「北九州風景街道まつり」を開催しています。まち歩きやバスツアー、講演会などを行っています。

バスツアー

講演会

北九州風景街道子どもウォーキング

小学生を対象に長崎街道や門司往還など、北九州風景街道のルートを小中学校の体育館などに宿泊しながら歩き、子ども達が、協議会会員と共に、道を通して歴史や文化、自然について学び、大切な風景資源を後世に守り伝えていく人材として育っていくことを目的に実施しています。

所属団体による説明
（小倉城周辺）

所属団体による説明
（黒崎宿）

北九州風景街道フォト＆スケッチコンテスト

北九州風景街道をＰＲするため、ルート及びその周辺を対象にフォト＆スケッチコンテストを実施しています。北九州市内外から作品の応募があり、市内で行われるイベント会場や区役所などで人気投票を行い、推進協議会の審査を経て最優秀賞１作品、優秀賞３作品がフォト、スケッチ各部門で選ばれます。
これからも継続して実施し、風景街道の認知度の向上につなげていきたいと思います。

スケッチ部門最優秀賞
「常盤橋と町並」

会員相互の交流・連携

会員の集まりとして総会･交流会を開催。さらに会員相互の情報交換のために、皆様の活動や推進協議会の取り組みを紹介した「かわらばん」を年３回発行。このような交流との連携は、風景街道活動の大きな柱と考えています。

総会で会員間の交流を図る

これまでは、北九州風景街道をどうやって多くの方に知ってもらうかに苦心しました。
これからも引き続き知名度向上に努めるとともに、パートナーシップの皆さんがそれぞれの強みを活かし、協働で、楽しく北九州風景街道に取り組むことで、その目的であるまちの賑わいの創出につなげていきたいと考えています。

北九州風景街道（長崎街道）推進協議会
会長 高宮 歳継さん

ちょっとよりみち 唐津街道むなかた

福岡 fukuoka

旧唐津街道になつかしいまち並みが印象的

筑前二十一宿の一つ「赤間宿」、緑と昔ながらの民家が美しく調和する「原町」を約5㎞で結ぶ「旧唐津街道」ルート。辻井戸や造り酒屋をはじめとする大きな商家等、江戸時代の建物が続く「赤間宿」地区、「まちづくり協定」に基づいた建物の修景が行われ、古民家の景観が保たれた「原町」地区と、まさに昔の風情がこよなく残っており、ゆっくりと散策しながら、まちの魅力を楽しむことができます。また双方とも美術が盛んで、個人美術館やギャラリーが街道沿いに点在。「赤間宿まつり（2月）」、「九州大道芸祭り（11月）」等、様々なイベント多彩。

赤間宿のまちなみ

原町のまちなみ

九州大道芸まつり in 宗像（原町）

活動のご紹介

まちなみの保全活動

旧唐津街道には、田園風景に囲まれた昔ながらのまちなみが残っています。このまちなみを後世に継承するため、地域ルールや古民家の活用方法を提案し、多面的な保全活動を行っています。

修景事業（原町地区）

地域イベントへの参加支援活動

「九州大道芸まつり in 宗像」（11月）・「唐津街道赤間宿まつり」（2月）等、地域のイベントへの参加や支援活動を実施。この機会に、回遊ルートの案内を含めたパンフレットや瓦版を発行しています。

赤間宿まつり

九州大道芸まつり（原町地区）

赤間宿まつり

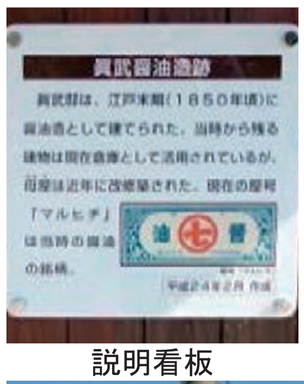
散策のしくみづくり

街道本来の機能である人が歩いて行き交う場の再生を目指して、観光ボランティアによるガイド活動や案内板・誘導サインを設置する等、訪れる人が楽しみながら散策できる仕組みづくりに取り組んでいます。

赤間宿まつりでの
小学生ボランティアによる案内

まちなみ紹介案内板

説明看板



説明看板

追分石

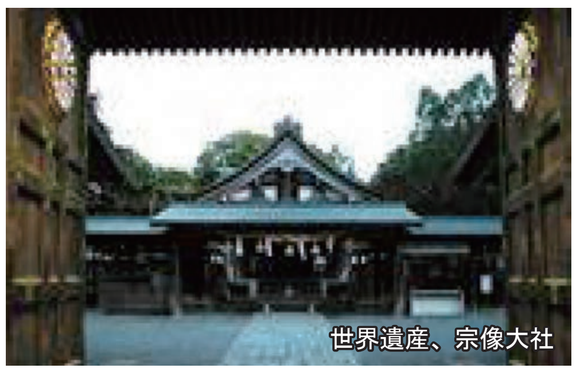
誘導サイン

当ルートの拠点である赤間・原町においては、九州風景街道に登録される以前からまちづくり活動を行ってきたが、「ちょっとよりみち唐津街道むなかた」として九州風景街道に登録されたことで取組みの幅が広がり、交流人口も増えてきた。今後は、赤間・原町がつながる活動を展開し、両地域に賑わいがでるような取組みを行っていきたい。

唐津街道むなかた推進協議会 会長　梅田芳徳さん

よりみちコース

ルート名にある“ちょっとよりみち”にちなみ、散策ルートと併せて周辺エリアには「よりみちコース」として、歴史を感ずるコース・大島歴史遺産コース・自然満喫コース等、よりみちの楽しさをご紹介しています。


世界遺産、宗像大社

さつき松原に足を伸ばし
森林浴でリフレッシュ！

かごしま風景街道

鹿児島
kagoshima

道路を軸にした「鹿児島らしい風景」

鹿児島のシンボル桜島から、錦江湾沿いの薩摩半島を巡り、南さつま市を結び、「桜島ルート」「鹿児島ルート」「指宿ルート」「南薩ルート」の４ブロックで構成。これらの地域には、勇壮な桜島と開聞岳を代表とする山々と海岸が織りなす風景、西郷隆盛など明治維新ゆかりの史跡が豊富な鹿児島市街、武家屋敷群や戦争遺産・文学遺産の知覧、指宿の天然蒸し風呂を代表とする温泉群、吹上浜から望む東シナ海に沈む夕日等、まさに必見です。そして芋焼酎はもちろん、さつま揚げ・きびなご・黒豚・カツオ等、おいしいグルメも盛りだくさん。

開聞岳

桜　島

知覧武家屋敷

活動のご紹介

ルートの魅力を知るスタンプラリー

鹿児島国民文化祭の開催期間中に県内外の市民にＰＲするため、
２４箇所で食文化スタンプラリーを実施。

ガイドブック

物産センターにて設置

道の駅にて設置

戦争遺産・文学遺産の保全と活用

桜島港近くに、旧日本軍が設置した海軍特攻基地壕跡があることから、「戦争遺産」並びにこの基地で終戦を迎えた作家・梅崎春夫にまつわる「文学遺産」周辺箇所の草刈作業を実施。

桜島にある戦争・文学遺産は、昔は地元の人に全く知られていませんでした。風景街道の活動を通じて、地域資源の価値に気づき、広め、活用できるようになったことは、とても素晴らしいことだと思います。今後も地域の風景を保全・活用できるようにがんばりたいと思います。

NPO 法人桜島ミュージアム 理事長　福島 大輔さん

地域の歴史的景観についての勉強会

地域に残る歴史的景観について学び、保存や活性化について考える取り組みを実施。「子どもガイド」の活動と合わせて、来訪者に語り部として地域の文化・歴史を伝えるための活動やスキルアップに取り組んでいます。

風景街道の取組みを幅広い年代の方々にも体感していただこうと、小学生から高校生まで児童や生徒さんたちといっしょに、まち歩きと意見交換を行いました。みなさん、それぞれに想いがあって、道の楽しみ方と景観を守ることの大切さを共有していました。風景街道は、みんなでつくりあげているものだと実感しました。

NPO 法人かごしま探検の会 代表理事　東川 隆太郎さん

好ましくない風景の改善

「魅力ある指宿まちづくり協議会」は、交差点の景観整備のため、官民挙げて取り組み、「看板撤去･景観修復」の啓蒙活動後、サインボードの設置･植栽が実施され、地区のシンボルゾーンとしてリニューアルされました。

看板撤去前

看板撤去後

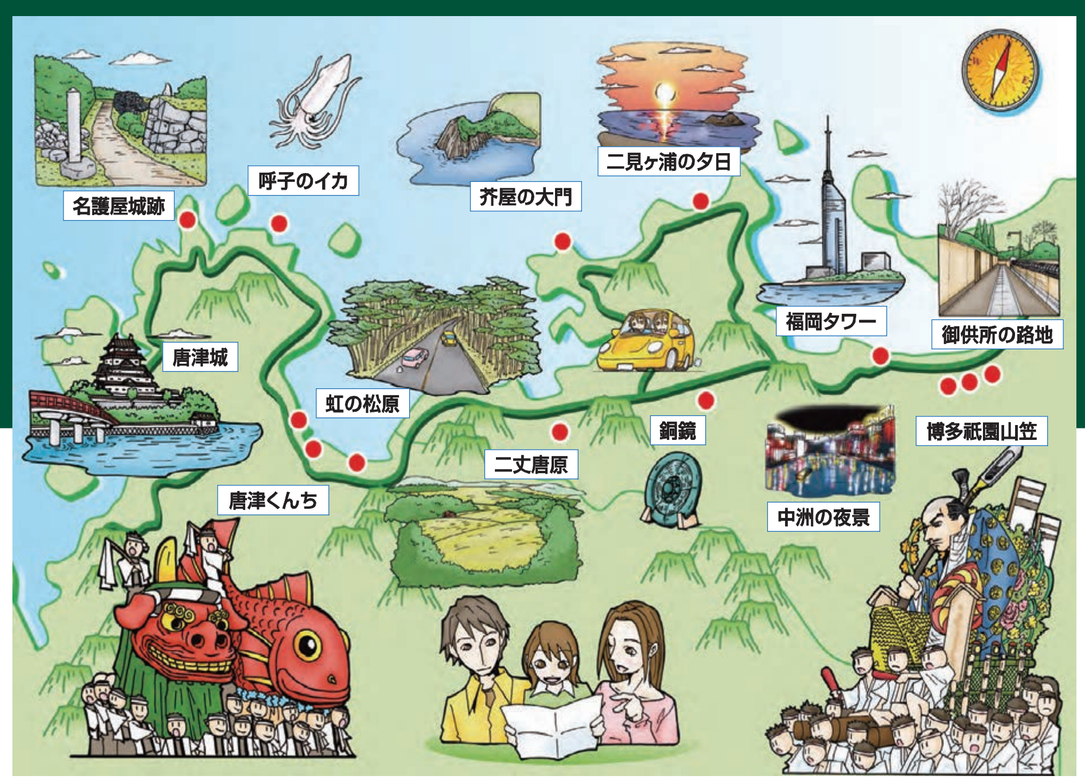
観光地・指宿の風景を守るために，行政･民間団体，そして市民が果たすべき役割を明確化し，乱立した看板撤去に取組みました。無償･自費による全面撤去には，約１年の期間を要しましたが，官民協働の取組みは，それ以降の観光行政の指針となりました。今後もそれぞれの役割の中で，風光明媚な指宿の景観を守り続けたいと考えています。

前指宿市役所 観光課 観光企画室 室長　今柳田 浩一さん

玄界灘風景街道

福岡 fukuoka
佐賀 saga

都市の楽しさや歴史、大陸とのつながりが、新たな歴史をきづいていく～福岡・糸島・唐津ルート～



大陸文化が玄界灘を経て、日本各地に広がった国際的舞台のルート。車で２時間ほどの距離に、「近代的な都市の楽しさ」「歴史の深み」「個性的な文化」「豊かな自然」があふれており、主に「福岡・博多（福博ゾーン）」、そして「糸島・唐津地区（海浜ゾーン）」が、コントラストな魅力で展開。なかでも一押しは、ショッピングやオフィスビルの博多・天神そして百道。さらに糸島から唐津への街道では、芥屋の大門や二見ヶ浦、鏡山から見下ろす延長５㎞・100万本の黒松が群生する日本三大松原の一つ虹の松原、七ツ釜等の海岸景観も絶景。さらに伊都国遺跡・名護屋城跡などは歴史ファンも必見。

糸島二見ヶ浦

虹の松原

福岡タワー

活動のご紹介

ごみゼロ青春探検隊　いとしま

自分の住むまちや道路を、自らがきれいすることを心がけ、地域の方々がすばらしい糸島の環境を守り、未来につないでくれる呼びかけをしています。

できることを、無理せず、楽しく、仲良く、いきいき続ける。小さな行動「糸島から」今日始めて、明日に繋ぎ拡げましょう。「糸島の自然環境は素晴らしい」その自然環境・道路美化が汚染傾向にあります。自分たちの住むまち、道路・公共施設など自らきれいにする心がけ、みんなが気持ちのよい緑豊かな・自然環境・道路環境を守り続け、未来に繋げるために、ごみゼロ点検・クリーン・花いっぱい（花暦）活動を通じて、住みよいまちづくりを目指します。

ごみゼロ青春探検隊いとしま　呼びかけ人　酒井 忠彬さん

まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会

今から10数年前、韓国のある大学教授から武寧王加唐島生誕説を支持する論文が発表されました。これを契機に加唐島島民を中心とし、地元では、更に日韓交流を深める機運が高まり、その中の団体の一つが、「まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会」の前身である「武寧王交流唐津市実行委員会」です。今日まで、加唐島での「武寧王生誕祭」、韓国公州市での「百済文化祭」のツアー実施、小中学生によるホームステイ相互派遣など、日韓交流による島づくりなどの活動に取り組んでまいりました。

まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会
会長　宮崎　卓さん

日本三大松原「虹の松原」の保存活動

唐津湾沿岸約５kmにわたって広がるクロマツの林で、貴重な「宝」である虹の松原を白砂青松の姿で後世に引き継ぐため、地域・企業・行政が一体となって、再生・保存のため松葉かきを行っています。

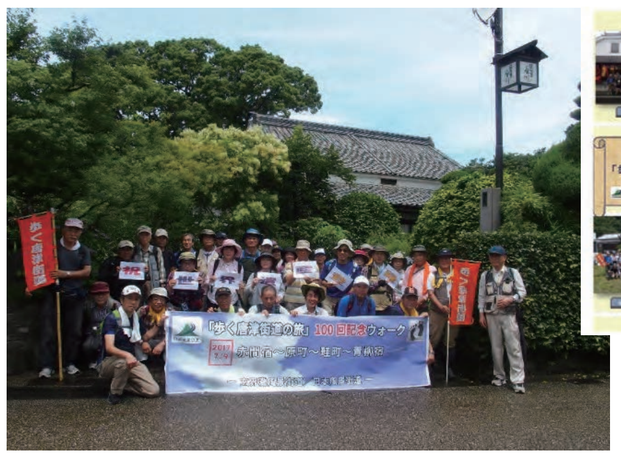
平成21年２月から始まったこの活動の登録者が今でも増え続け、6,900名に達したことはとてもうれしいです。しかし松原はとても広く、全体を白砂青松にするには、25,000人の協力が必要です。楽しく継続できる仕組みを構築しながら、地域の皆様とともに、これからも地域の宝を守り伝えていきたいと思っています。

ＮＰＯ法人 唐津環境防災推進機構（KANNE）
事務局長　藤田 和歌子さん

歩く唐津街道の旅

旧唐津街道ジャーニーラン・ウォークが実施している「歩く唐津街道の旅」です。
唐津から北九州の大里宿（だいりしゅく）までの唐津街道、片道約140ｋｍを９区間に分け、２年かけて歩いて往復する活動です。今年は、活動10年目を迎えます。９月には、それを記念したイベントの企画しています。更に番外編（１～３月期）では、他団体との交流ウォークにも取り組みます。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

「歩く唐津街道の旅」100回記念ウォーク
赤間宿～原町～畦町宿～青柳宿（２０１７．７．９）



「歩く唐津街道の旅」は、昨年７月に活動１００回の記念イベントウォークを開催しました。今後も「200回」「300回」と息の長い活動になるよう、他団体との交流ウォークの開催など、更なる発展にむけ、取り組んでいきます。

旧唐津街道ジャーニーラン・ウォーク
呼びかけ人　大串　幸男さん
酒井　忠彬さん

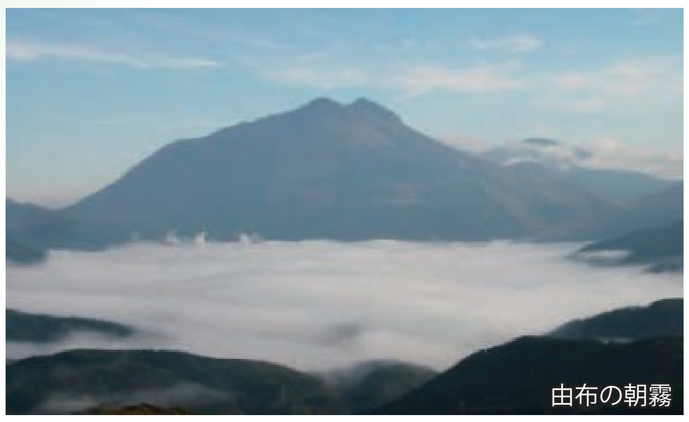
九州横断の道 やまなみハイウェイ

大分 oita

美しい日本の風景を取り戻す取組み

やまなみハイウェイ沿線は、「阿蘇くじゅう国立公園」に指定されており、城島高原・飯田高原等の大草原が広がり、岡城祉までの国道 442 号で結ばれた魅力的な風景のルート。別府温泉・由布院温泉・長湯温泉等、数々の温泉郷や絶景スポットで有名な九酔渓・九重“夢”大吊橋、そして登山客に人気のくじゅう連山等、雄大な自然の連続。また「エコツーリズム」「温泉ツーリズム」「フォレストツーリズム」、高齢者や弱者の方々をはじめ、誰もが安心して楽しめる「ユニバーサルツーリズム」等、五感を活かした「ゆっくり寄り道ツーリズム」の創出にもご注目下さい。

飯田高原


由布の朝霧

由布岳

活動の紹介

阿蘇くじゅうの野焼き

やまなみハイウエイ開通時の美しい景観の復興をめざして、地域の生活と風景の関わりを見つめなおし、景観保存の担い手を育てながら、草原景観をはじめとする風景の保全活動を進めています。九重町では、住民が「野焼き実行委員会」を結成し、野焼きを復活させました。

通り名で道案内

由布院・竹田地区では、観光ではじめて訪れる方々のまち歩きをサポートするため、「通り名」の入ったマップと通り名の看板・石柱による道案内を設置。

私たちやまなみハイウェイ協議会では訪れる方々に楽しんで頂くため、花植え活動や野焼、看板撤去などを行ってきました。現在は観光道路としての眺望回復などを目的とした沿道にある人工林の整備や、高地トレーニングのメッカである飯田高原でのマラソン練習コースの整備に取り組んでいます。協議会としては関係機関に呼びかけ交渉を行うなど、実現に向け動き始めています。

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会 会長　高橋 裕二郎さん

別府八湯ウォーク

別府八湯の魅力を、地元のまち歩きガイドが歩きながら案内するウオーキングツアーを実施。ひっそりと、点在する別府の路地裏は、昔ながらの史跡が残る“まちごと博物館”です。

やまなみハイウェイ沿線の環境美化活動

やまなみハイウェイ沿線の美しい自然環境・景観を守るため、環境美化活動を実施。別府 IC 周辺や九州横断道路沿線で清掃活動及び花植え活動を行っています。

自然公園クリーン作戦の様子

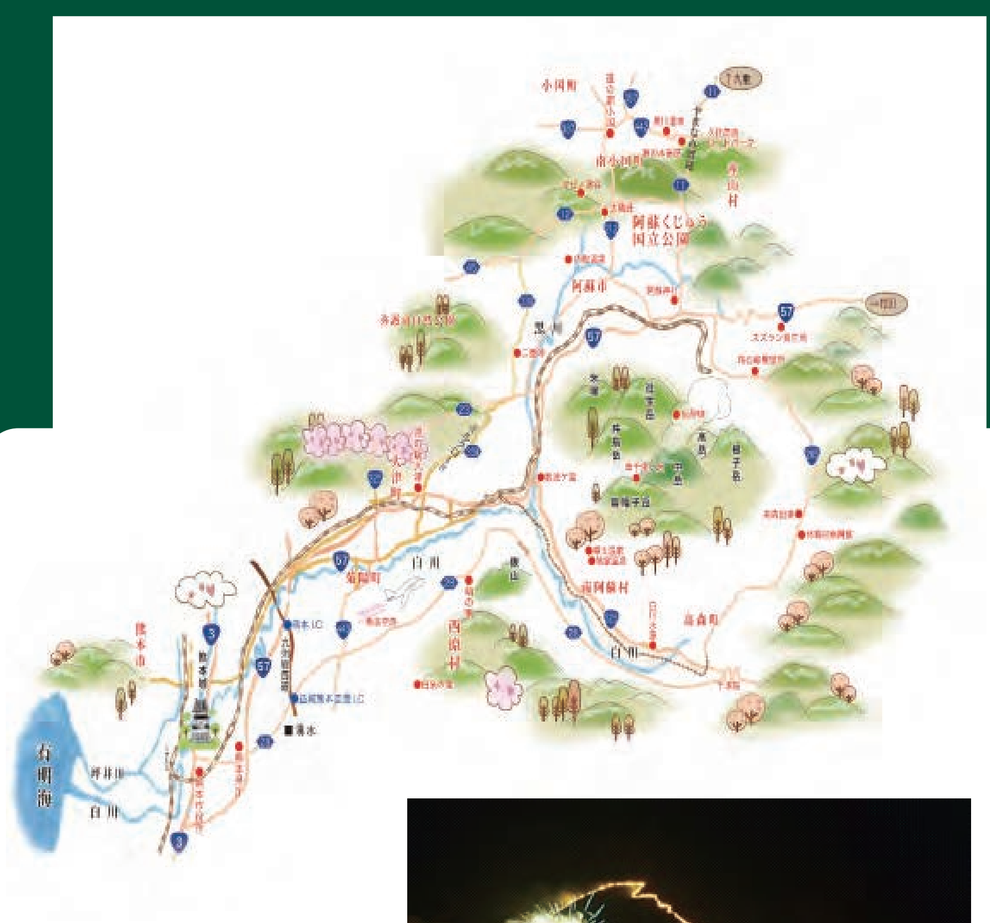
タデ原湿原の外来種駆除の様子

日本風景街道

九州横断の道 阿蘇くまもと路

熊本 kumamoto

世界一のカルデラ阿蘇を背景に大草原が広がる街道



世界最大のカルデラ火山で有名な阿蘇と築城 400 年、名城熊本城の熊本市街までを結ぶルート。かつて加藤清正が造った「豊後街道」の道筋であり、熊本と大分の鶴崎を結び、江戸時代細川藩の参勤交代路として利用されました。街道のシンボル阿蘇の雄大な自然の風景、ことに大パノラマ「大観峰」「草千里ヶ浜」は、必見の国際観光エリア。また黒川温泉・内牧温泉・地獄温泉等、良質の温泉郷としても知られ、白川水源等の名水もあり、世界各国からの観光客を魅了しています。本ルートも「九州横断の道 やまなみハイウェイ」同様、「ゆっくり寄り道ツーリズム」の活動がさかん。

阿蘇の火祭り

仙酔峡のミヤマキリシマ

米塚（阿蘇市）

活動のご紹介

野焼き

九州一の観光地阿蘇の景観の魅力は、広大な草原で野焼きと放牧により、多くの人々の手で守られてきました。阿蘇の野焼きは面積 16,457ha、延焼を防ぐ輪地切りの総延長は 540km に及ぶことから、1 年の大半をかけて野焼きボランティアの育成、準備としての輪地切り、野焼きを行っています。

阿蘇野焼き【写真提供：公財　阿蘇グリーンストック】

人手不足や高齢化によって、野焼きや輪地切りの持続が困難な牧野へ 1999 年からボランティアを派遣し続けています。今後はボランティアと地元牧野組合、行政とのより良い関係の構築や、作業の技術向上、環境保全への意識のスキルアップ、地元の後継者を育成するために地元の学校などへの働きかけを行っていきたいです。

公益財団法人阿蘇グリーンストック 専務理事　桐原　章さん

九州横断（豊後街道）徒歩の旅

九州横断（豊後街道）徒歩の旅は、大分県鶴崎から熊本県の熊本城まで 31 里、約 125km を 6 泊 7 日かけて歩く旅。毎年夏休みに行われ、子どもたち 200 名ほどと学生ボランティアを含め、250 名以上の現代の参勤交代の志士たちが、旧豊後街道を歩き続けます。

大分市から熊本城迄の旧豊後街道 125 ㎞を子ども達 200 名が 1 週間かけて歩くこの旅は、今必要とされている生きる力を育む青少年健全育成体験型プログラムとして高い評価を受け、沿道の方々や多くの皆様に御支援を頂きながら、暑い熱い篤い厚い旅をお陰様で 40 年近く続けています。全国各地のモデル事業になっています。

ＮＰＯ法人自然を愛する会ＪＯＣ
理事長　齊藤 誠治さん

旧大津街道のハゼ並木の保存

旧国道 57 号沿い、熊本市龍田町弓削校区を通るハゼ並木道 (旧大津街道）は、江戸時代、赤穂浪士 47 名のうち、17 名が沙汰前に肥後細川藩預けとなり、手厚い処遇を受けたことに感謝して藩に贈ったもの。清正公の杉並木とともに、大津街道を行き交う人々の心を和ませたそうです。そのハゼ並木の保護と景観美化を目的に活動しています。

地域住民の手で「街道の特性」を活かし守っていくことをテーマに、郷土を通る道の並木枯れ跡や、空き地に並木を植栽し美化活動を続けています。今後は「実効活動の永続性を確立すること」を目標に、活動会員の後継者づくり、官民協働の体制つくり、地域における広報活動に力を入れていきたいです。

並木街道守るボランティアの会　代表　黒木 嘉次郎さん

町屋の保存

熊本城は築城 400 年を迎え、完全復元に向けた整備が進行中。それら城下町の風情を残そうと、現存する町屋を保存し、活用する活動が展開されています。

街道の起点となる熊本城下、自分たちの新町・古町に興味を持って始めた、マンションが林立する中での町屋の保存活用の取り組み。30 代中心のメンバーが掃除や補修に汗をかき、賑やかに町に溶け込んでいく建物もあれば、解体される見事な梁を悔しさで見守ることも。今残るものを見直すことは今しかできない！今後もやります！

新町・古町町屋研究会 代表　宮本 茂史さん

豊の国歴史ロマン街道

福岡 fukuoka

ー小倉・足立山から宇佐の森へー

北九州市小倉北区小倉城下の常盤橋から国道 10 号沿いに南下し、旧中津街道を経て大分県下・宇佐神宮に至るルート。沿線には、小倉足立山麓の和気清麻呂公の史跡・妙見宮、古墳時代前期の石塚山古墳や御所ヶ谷神籠石等の古代遺跡、樹齢 1900 年の本庄の大楠（国の天然記念物）、戦国期秀吉の軍師黒田官兵衛の居城・中津城、そして幕末・明治の思想家・教育者福沢諭吉の旧居、全国 4 万余の八幡宮総本宮・宇佐神宮など、多くの歴史・文化・自然が存在。毎年、春と秋に開催の「史跡探訪ウォーク」には、この街道の歴史ロマンを求めて、多くの市民が参加しています。

和気清麻呂の像

宇佐神宮

中津城

活動のご紹介

「中津街道で町おこしを」シンポジウムの開催

江戸時代、豊前国の城下町であった小倉と中津を結ぶ「中津街道」を地域おこしに活用できないか考えるシンポジウムを開催しました。このシンポジウムは街道沿いに残る宿場町の町並みや史跡などを市民に知ってもらうことで、自治体の壁を越えた広域的なＰＲ活動につながるよう企画しました。会場からは「歴史を生かした地域おこし自体には金や雇用を生む力はないが、その一助にはなる。歴史を掘り下げることは無意味ではない」との意見が出るなどルート一体となったイベントやＰＲ活動の必要性を参加者全員で確認しました。

史跡探訪ウォークとバスハイク

毎月第２日曜日に小倉北区の紫川にかかる常盤橋を起点とし、和気清麻呂公に由来する足立山麓を経て、行橋市、中津市、宇佐市の宇佐神宮まで街道を歩き、歴史景観を訪ねています。また、歴史講演会の開催や年に２回バスハイクなども楽しんでいます。

標柱の設置

「豊の国歴史ロマン街道」と小倉～宇佐間の歴史的建造物や自然遺産のことを地域の方々にもっと知ってもらうために、標柱を設置しています。平成 25 年度は常盤橋など 4 箇所に設置し、これまでに 14 箇所に設置しました。

子供神楽「あだち」

伝統文化伝承の一環として、毎年 4 月北九州市小倉北区の妙見神社で妙見宮桜まつりとあわせ、足立山麓文化村制作の子供神楽「あだち」が行われます。地元の小学生が華麗な舞を披露し、毎年多くの方々が観覧しています。

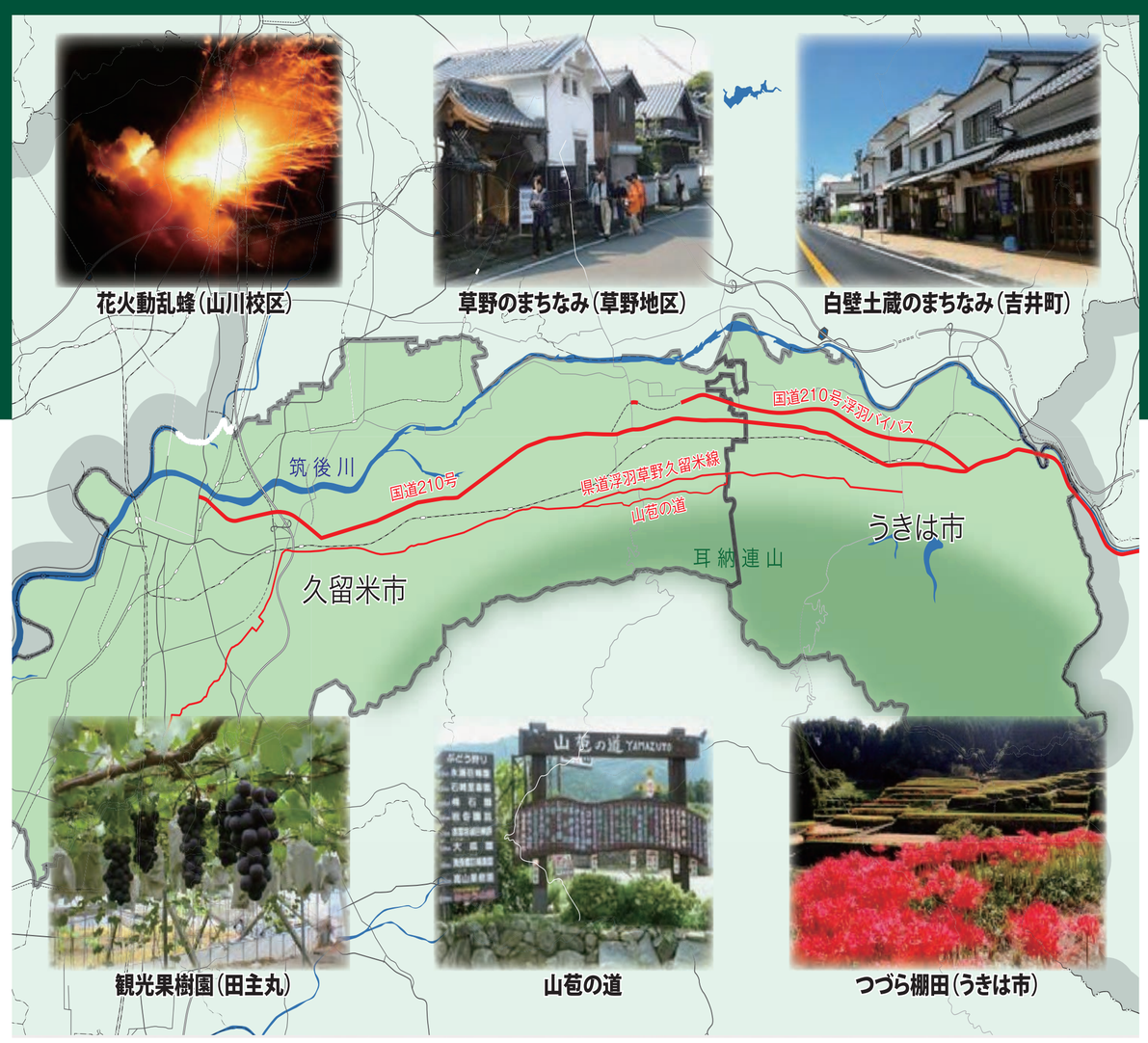
私たちは、旧豊前国の小倉から宇佐までに現存する歴史景観と自然遺産を保存し、広く知ってもらうために風景街道活動を続けています。当街道には、和気清麻呂・菅原道真・黒田官兵衛・福澤諭吉の史跡があり、この歴史の共通認識に立って、地域間の連携を深めます。
さらに東九州道の開通に伴い、当地域への観光を広めるなど、北九州ー大分間の発展に寄与していきたいと思います。

豊の国風景街道推進協議会　会長　北村 速雄さん

みどりの里・耳納風景街道

福岡 fukuoka

耳納連山と大河筑後川が織りなす「里の風景画」

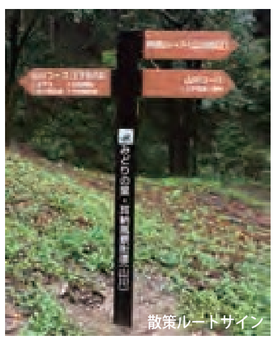


南には屏風のように連なる耳納の山々と、北には豊かな水が流れる九州一の大河筑後川に囲まれ、東西に走る旧街道日田往還等を軸として、自然と歴史・文化に育まれてきたルート。耳納連山から筑後川へと広がる空間が東西に延びていく情景は、まさに自然の回廊。今も古代の王の墓や、吉井町の白壁土蔵等の風情あふれるまちなみが当時の面影を偲ばせます。この地域は、植木・苗木や果樹の生産も盛んで、久留米つばき、久留米つつじ、巨峰が有名。そして約 400 年前より続く棚田等、代々受け継がれた文化的遺産や祭りも多く残されており、訪れる人々をこよなく魅了してやみません。

活動のご紹介

散策ルート作り…久留米市東部地域

耳納北麓５校区（山川･山本･草野･竹野･水縄）のまちづくり振興会は、久留米市と協働して地域の歴史・文化等の資源と併せて、自然環境に恵まれた花や緑、里山、展望スポット等、点在する魅力ある資源と地域の特性や季節の魅力を活かした散策ルートづくりを行っております。耳納北麓を現在、東西に繋ぐ、幹線ルート約 20km 及び校区の魅力あるルートづくりを進めています。
是非、耳納北麓地域のすばらしさを、散策により堪能してみてください。

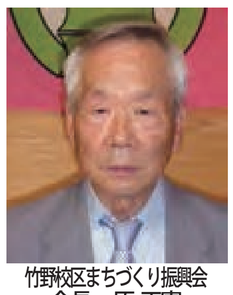

散策ルートサイン

花や緑のフルーツをはじめ、耳納北麓の魅力ある地域資源を活かして、訪れた方々に楽しんで頂けるよう散策ルートづくりを進めています。この地域の緩やかな時の流れる風景の中で、癒しや安らぎを感じていただければと思うとともに、来てよかった、また来ようと思っていただけるような、温かみのある交流が生まれる風景街道を目指してまいりたいと思います。

散策ルートづくり・５校区（山川・山本・草野・竹野・水縄）会長

草野校区まちづくり振興会
会長　今村 武憲

山川校区地域づくり振興会
会長　今村 隆


竹野校区まちづくり振興会
会長　原 正憲

山本校区振興会
会長　深山 和義

水縄校区まちづくり振興会
会長　刈茅 重信

コスモスで訪れる人をおもてなし（国道２10号コスモス街道）・・・うきは市

国道 210 号バイパスの沿道、約３㎞の中央分離帯にコスモスを植栽。この活動によりゴミの投げ捨てが減少し、景観づくりに貢献しています。

千年地区自治協議会では、校区内を東西に走る国道 210 号バイパス沿い約３キロに渡ってコスモスを植栽しています。うきは市を訪れる方々へのおもてなしの心で始めた活動で、2018 年で 19 年が経過しました。コスモスが満開になる 10 月には、地元の小学生とともに「福祉・コスモス祭り」を開催しています。

ちとせコスモス街道　会長　家永 重信さん

伝統を守り、語り継ぐ

久留米市東部の祭りや伝統行事を継承するため、各種行事を心地よく行うための活動を行っています。

〈花火動乱蜂〉
毎年９月１５日開催に向けて、花火点火場所の管理等に取り組んでいます。

花火動乱蜂は、夏の暑い中、汗を流しながら地域のみんなで草刈などを行い、準備を行っております。また、山里の王子池周辺の王子の森を会場として、地響きがするほどの迫力・観客の耳目を奪う色彩と轟音は、一見の価値アリです。ぜひ、より多くの人に見て頂きたいと思っております。

花火動乱蜂保存会 会長　豊福 秀徳さん

〈柳坂ハゼ祭り〉
柳坂曽根のハゼ並木の紅葉時期（１１月下旬）に開催。ハゼ並木の管理に取り組んでいます。

「柳坂ハゼ並木」の紅葉見物観光客の受け入れ案内やハゼ並木の保護育木、環境美化等に地域のみなさんと一緒に取り組んでおります。毎年、柳坂曽根のハゼ並木の紅葉時期 (11 月下旬頃) に柳坂ハゼ祭りを開催しておりますので、ぜひお越しください。

柳坂ハゼ祭り実行委員会 会長　上野 健三郎さん

地域資源を守り、育む

＜つづら棚田＞・・・うきは市

「つづら棚田保存会」は、日本の山村の原風景を保存するため、つづら棚田の管理として、棚田オーナー制度、彼岸花めぐり等の支援活動に協力しています。

うきは市の「つづら棚田」は、日本棚田百選に選ばれた貴重な棚田です。彼岸花の咲く頃には、山村の原風景を求めて多くの方が訪れます。しかし、現実的には、棚田の約４割が耕作されない状況に陥っていました。そこで、私たち近隣の有志で「つづら棚田を守る会」を結成し、農作業を行いながら景観を守る活動を行っています。

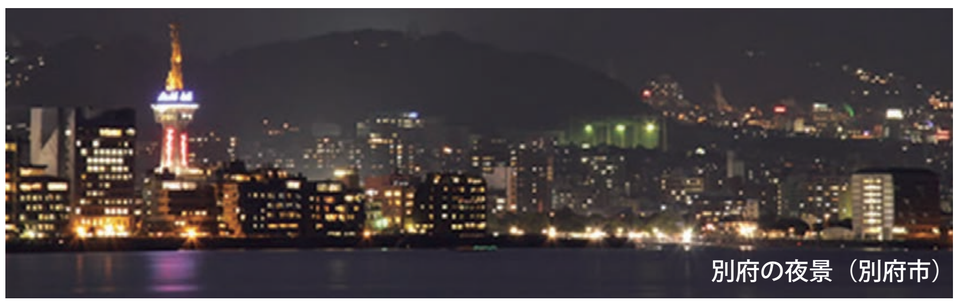
つづら棚田を守る会 会長　堤 寿夫さん

別府湾岸・国東半島海べの道

大分 oita

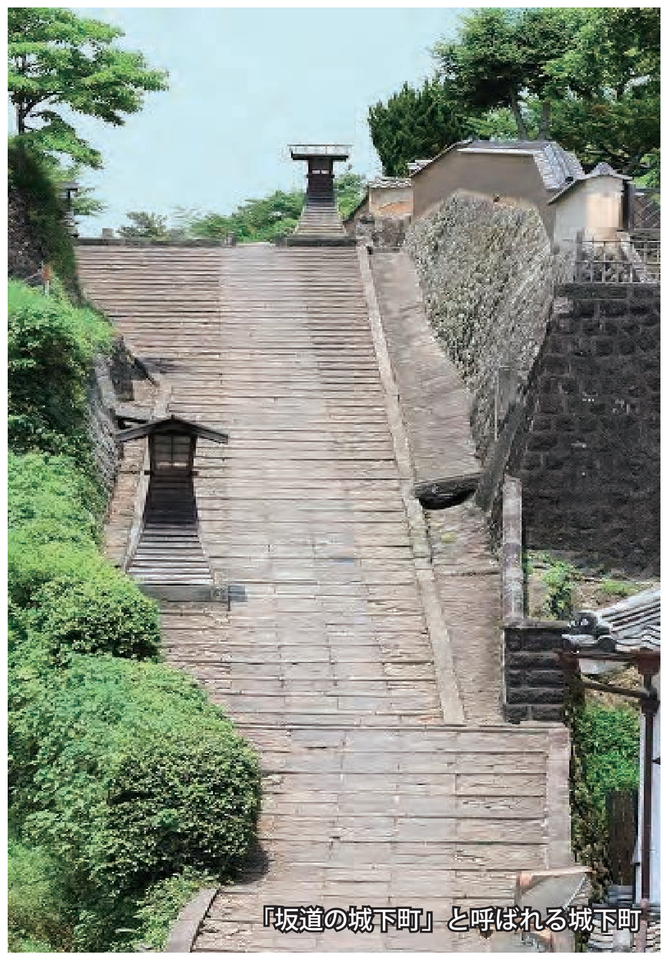
日本一の温泉と半島めぐりでリフレッシュ

東の大分市佐賀関から西へ別府湾岸を走り、世界農業遺産の国東半島の海岸線をぐるりと廻る美しい自然景観と、歴史・文化の魅力たっぷりなルート。「只今 100 匹」の野生ニホンザルの高崎山、水族館「うみたまご」。世界有数の湯けむりの別府温泉とガイドの八湯ウォーク、城下町の風情を今に残す日出町と杵築市街。六郷満山の国東市に、真玉の夕日と昭和の町・豊後高田市等、見逃せない観光スポット満載。さらに佐賀関の関さば･関あじ、大分市内のふぐ料理、日出町の城下かれいと、「海べ」の名にふさわしく、海の幸がいたる所に。大分県出身の歌手松原のぶえ・花岡優平の「海べの道応援曲・しあわせの旅路」にのって海べのドライブを。


別府の夜景（別府市）

田ノ浦ビーチ（別府市）

富貴寺大堂（国宝）


「坂道の城下町」と呼ばれる城下町

活動のご紹介

みなとの賑わいづくり

ＮＰＯ法人大分ウォーターフロント研究会が中心となり、西大分地区で、「海辺のガーデニングフェスタ」「かんたん海の大サーカス」「みなとのフードフェスタ」など年間を通じた集客イベントを平成 17 年以降継続的に開催しています。また当ＮＰＯは、設立以降、毎年「別府湾岸官民交流会議」を主催し、みなとの賑わいづくりのための提案を行ってきました。行政との意見交換を定期的に開催し、官民共働のまちづくりを実践しています。

何気ないけれど感じ入る風景を「世間遺産」と称して各地で撮影、合評しました。それらの写真を元にマップの作成や展覧会も行いました。

三者連携「道の駅」募金活動

「風景街道 × 道守」で PR 活動

1990 年の発足以来、アート、食、パフォーマンスなどを融合させた様々なイベントを開催し、別府湾岸の賑わいづくりに取り組んできました。また、国内外の先進地の視察や有識者による講演会等を通して、常に新しいことにも取り組もうとしています。これからも、風景街道の海辺が「憩いと賑わいの場」となるよう、活動・提言をしていきたいと思います。

ＮＰＯ法人大分ウォーターフロント研究会　会長　菊口 邦弘さん

歴清らかな水と美しい緑があふれる豊かな自然

私達のふるさと杵築市は、清らかな水と美しい緑があふれる豊かな自然に恵まれております。しかし最近では残念ながら多くのゴミが散乱しております。杵築市のシンボルとも言える八坂川河口付近にも沢山のゴミ等が散乱している状態です。

杵築市のシンボルでもある八坂川を市民一丸となり、きれいな元の状態に戻し、戻す中もしくは戻す前での生態観察、全国有数のカブトガニの生息地でもある守江湾の干潟を参加した子供達に触れさせ、触れさせることにより、ふるさと杵築市を、緑あふれる地球を、愛する意識づくり、「他が為に」へのボランティア精神の育成を行いたいと考え活動をしております。

山、川、海と自然豊かなこの杵築の町を自分たちの手で守っていこう！と立ち上がった私たちですが、毎年行っている「八坂川河口及び干潟の清掃活動」、「小学生を対象としたカブトガニや小動物の生息を学ぶ干潟観察会」などを通じて、市民や子どもたちが直接参加して環境の変化を学ぶ良い機会でもあります。
平成 26 年から、日本風景街道の活動にも参加させてもらい、私たちだけではなく、いろいろな形で、自分たちの町の海岸線の美化運動や地域おこしをされている仲間たちとも知り合うこともできました。これからも、みんなで協力して風景街道の活動を盛り上げていきましょう。

杵築市まちピカ運動推進委員会　会長　秋吉 実さん

あまくさ風景街道

熊本 kumamoto

美しいサンセットと南蛮文化やキリシタンの歴史を伝える街道

③富　岡　城

②イルカウォッチング

①天 草 五 橋

④妙　見　浦

⑦海上マリア像　⑥牛深ハイヤ祭り　⑤﨑津教会

天草地域は熊本県の南西部に位置する島々で、周囲を東シナ海・有明海・八代海という３つの海に浮かぶ多島海である。美しい青い海に浮かぶ大小さまざまな島や緑深い山々などが織り成す雄大な景観をはじめ、季節を問わず一年中楽しむことのできるイルカウォッチング、南蛮文化やキリシタンの歴史を伝える施設などがあり、自然と文化に育まれた島となっています。「あまくさ風景街道」は、その風光明媚な天草の海洋景観を走る道路の中でも、東シナ海・有明海側の「夕日」をキーワードにして、天草を代表する愛着のある主要道路を結ぶルートとなっております。

活動のご紹介

美しい天草の街道づくり

天草の美しい海洋景観や風光明媚な漁港や島々を走る海沿いの国道を日本風景街道と位置づけ、景観維持に努めながら、花等の植栽、美化活動をとおして、美しい天草の街道を創成します。

【ボランティア花壇事業】

天草市有明町須子（ありあけまち　すじ）地区の国道３２４号沿線にある植樹帯及び民有地に季節の花を植栽し、観光客などへ花によるおもてなしを行っております。
また、花の植栽以外にも、特定外来生物とされている「オオキンケイギク」の駆除など、地域が一体となって国道沿線の良好な景観の形成に寄与しています。
なお、活動については県のロード・クリーン・ボランティア事業及び天草花咲プロジェクト事業からの支援を活用しています。

【花づくり教室事業】

地域からの花づくりの普及・啓発、人材育成・技術支援を目的に、天草市と各町公民館・地区振興会及びボランティア団体等との協働により、年３回程度、花づくり教室を開催しています。併せて、道路沿線の花壇を地域で維持管理することで、自主的な花づくり活動を推進しています。

地域活性化・観光振興

天草の島々の多様な主体による協働のもと、個々の景観、自然、歴史、文化等の地域資源を生かした原風景のさらなる質の向上を図る活動を展開し、地域の活性化、観光振興に寄与します。

【観光振興事業】

年間を通して各種イベントの実施及びプロモーション活動として、テレビや雑誌媒体への広告活動を行い、観光客の誘客を図っています。また着地型観光の推進として、市内観光施設等の情報発信や観光ガイドの会との連携を図りながら、観光推進事業を行っています。

【観光ボランティアガイド事業】

歴史探訪ウォーキングの開催、富岡城清掃作業や国道沿い花壇手入れ・景観つくりを行っています。また、会員の研修や募集を実施しています。

サイクリングイベントの様子

歴史探訪ウォーキング（国照寺）

各民間団体と行政機関が一体となって、天草地域全体をフィールドとして、花の植栽、海岸や道路の清掃、交流人口の増加に繋がるイベント等を通じながら、「美しい天草づくり」を目指しています。
また、天草を訪れた方に感動を与え、再び訪れたくなるような、地域の方々の温かいおもてなしが出来るように、様々な運動等も行っており、広がりをみせています。

あまくさ風景街道協議会　会長　永田 章一さん

【観光拠点の整備事業】

(1) 夏中心型観光から通年観光への転換
　①着地型観光商品開発事業
　②冬の天草魅力創出事業
　（イルミネーションや食のイベント開催）
　③交流人口拡大事業
　（サンドアートフェスティバル、ロマンティックファンタジー等）
　④インバウンド対策事業（外国人観光客の誘致等）
　⑤修学旅行誘致促進事業
　⑥食の天草満喫プロジェクト

(2) 天草ファン・応援団（リピーター）の創造
　①島民総おもてなし運動展開事業
　②天草おもてなし充実事業

(3) 観光ニーズに応じた情報発信
　③ガイドブック制作事業

(4) 広域観光拠点化充実事業
　本渡港・牛深港・鬼池港など交通結節点のインフォメーション機能の充実を図り観光客の利便性の向上に努めます。

(5) 地域での観光交流拠点活用事業
　観光まちづくりの取組が始まっている地域において、観光客と地域住民が交流することで観光客の満足度の向上と地域の経済効果が得られるように、地域での交流拠点施設として活用し、PR 等を支援します。

ロマンティックファンタジー

サンドアートフェスティバル

本渡港ターミナル

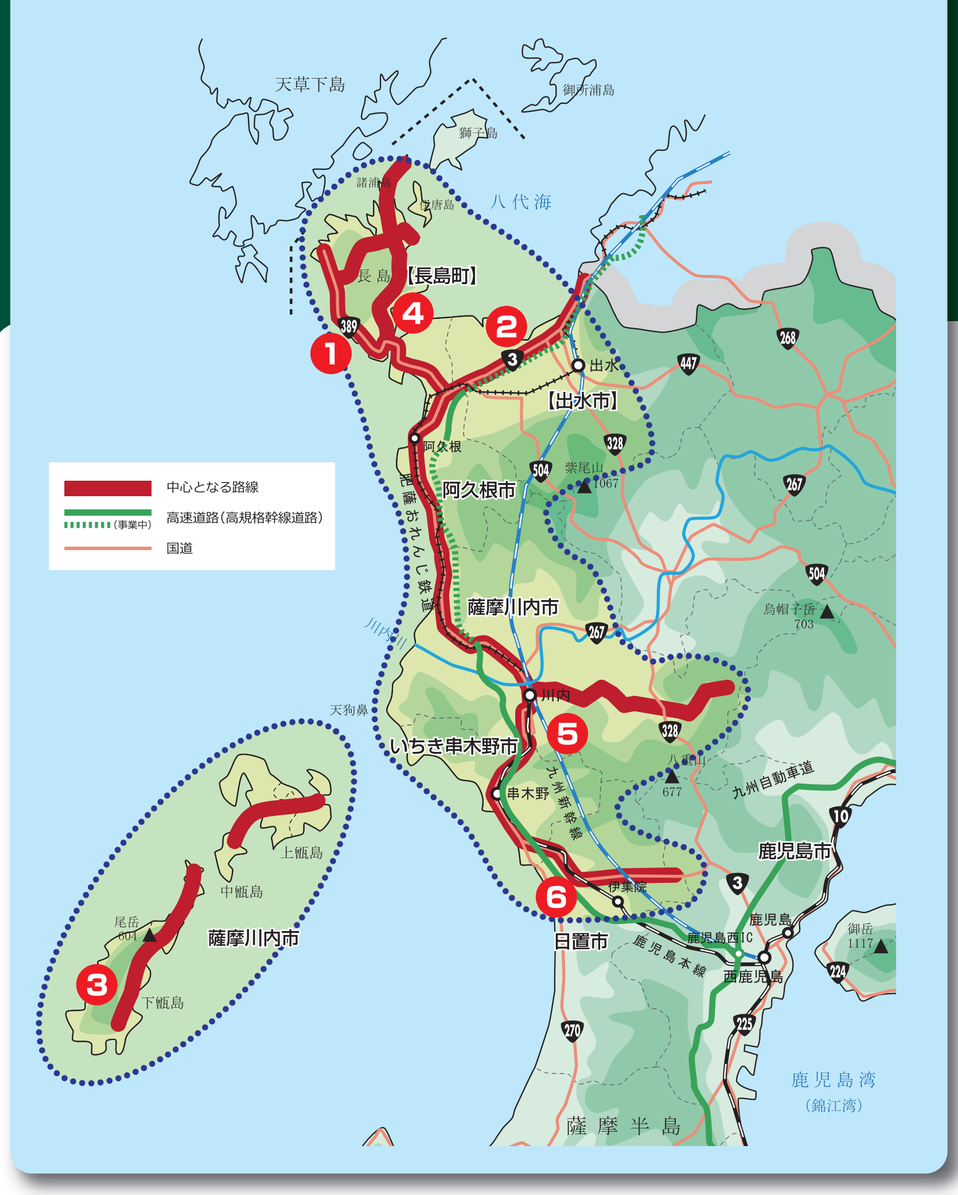
うしぶか海彩館

薩摩よりみち風景街道

鹿児島
Kagoshima

藩政時代からの歴史遺産とダイナミックな自然景観が魅力的

薩摩よりみち風景街道マップ



薩政時代から、鹿児島県内は、　歴史・文化の面で深く繋がっており、海岸道路の沿線は、武家屋敷や国分寺跡などの薩摩の歴史や文化を伝える名勝史跡が数多く残っています。また、地形の変化の美しい甑島、黒之瀬戸など日本三大急潮流の景勝地や東シナ海を背景にした「人形岩」や「ナポレオン岩」などのダイナミックな美しい自然景観も見ることができます。赤土バレイショ・養殖ブリ・みかん・芋焼酎・阿久根ボンタンなど特産品が豊かであることもこの地域の魅力。

①長崎鼻灯台公園(長島町)

②鶴の飛来地(出水市)

③ナポレオン岩(薩摩川内市)

④黒之瀬戸海峡(阿久根市)

⑤霊峰冠岳(いちき串木野市)

⑥薩摩焼の里(日置市)

活動のご紹介

美しい薩摩の街道づくり

北薩地域の恵まれた自然景観を守る

薩摩の美しい海岸線付近を通る道路を風景街道と位置づけ、美しい景観を維持しながら花の植栽、清掃作業を行い、美しき街道を創成

荷馬車組合

花の植栽(長島町建友会)

湯田口海岸清掃活動

地域の活性化・観光の振興

薩摩の歴史的文化遺産などを活かす

薩摩の多様な主体による協働のもと個々の景観、自然、歴史、文化・交流、施設・情報の資源を活かしたものに更なる質の向上を図る活動を展開

川内大綱引き(薩摩川内市)

出水市公開武家屋敷

出水つるマラソン大会(主催:出水市)

観光資源間の連携

食・物の連携で観光の魅力を高める

これまでに整理されている資源に加え、他の観光資源(飲食・物販)との連動によるまちあるき型観光資源の発掘・開発をし、観光の魅力の向上につなげる

串木野漁港でのマグロ祭り

観光農園(日置市)

豊富な海の幸

薩摩よりみち風景街道は、まさに南九州西回り自動車道のバイウェイ、寄り道です。過疎化が進むこの地域には、多様な観光資源やイベントがあり、　それを担う人々がいます。5市1町という広域におよぶ薩摩の西海岸周辺域を通る道路を風景街道と位置づけ、それぞれの資源同士のネットワーク化を図ることで地域の一体感を創出し、多くの人々に訪れていただけるよう、温かいおもてなしの心を感じて頂ける風景街道に磨き上げます。

薩摩よりみち風景街道協議会
副会長　田島 直美さん